

平成 27 年度中間決算の概要について

〔平成 27 年 12 月 17 日〕  
〔一般社団法人 第二地方銀行協会〕

会員行の平成 27 年度中間決算（単体）の概要は以下のとおり。

(注) 計数は、平成 27 年 9 月末時点の会員行 41 行ベース（特記ある場合を除く）。

**1. 損益概況（業務純益：1,345億円、経常利益：1,589億円、中間純利益：1,122億円）**

会員行の平成 27 年度中間決算の業務純益は減益、経常利益および中間純利益は増益となった。

業務純益は、有価証券利息配当金の増加により資金利益が増益となり、経費が減少したものの、国債等債券関係益の減益、一般貸倒引当金戻入額の減少により、1,345 億円と前年同期比△75 億円、△5.3%の減益となった。

経常利益は、株式等関係益の増益、個別貸倒引当金繰入額の減少等により、1,589 億円と同+84 億円、+5.6%の増益となった。

中間純利益は、1,122 億円と同+10 億円、+0.9%の増益となった。

**2. 業務純益の状況**

**(1) 資金利益（4,362 億円、前年同期比+16 億円、+0.4%）**

資金利益は、前年同期比+16 億円、+0.4%増益の 4,362 億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高（平残）は増加したものの、預貸金粗利鞘の縮小により、同△97億円、△2.8%減少して3,368億円となった。

また、有価証券利息配当金は、同+115 億円、+13.0%増加して、997 億円となった。

**(2) 役務取引等利益（399 億円、前年同期比+3 億円、+0.8%）**

役務取引等利益は、投信窓販業務手数料、保険窓販業務手数料がともに増加したことにより、前年同期比+3 億円、+0.8%増益の 399 億円となった。

**(3) その他業務利益（118 億円、前年同期比△112 億円、△48.7%）**

その他業務利益は、国債等債券関係益の減益等により、前年同期比△112 億円、△48.7%減益の 118 億円となった。

**(4) 経費（3,568 億円、前年同期比△37 億円、△1.0%）**

経費は、3,568 億円と前年同期比△37 億円、△1.0%の減少となった。

### 3. 経常利益および中間純利益の状況

経常利益は、株式等関係益の増益、個別貸倒引当金繰入額の減少等により、1,589億円と前年同期比+84億円、+5.6%の増益となった。

中間純利益は、1,122億円と同+10億円、+0.9%の増益となった。

### 4. 不良債権処理額（与信関係費用）の状況

不良債権処理額（与信関係費用）は、前年同期比+13億円増加し、9億円の繰入となった。

また、金融再生法開示債権（破産更生等債権、危険債権、要管理債権の合計）は、前年度末比△625億円、△4.7%減少の1兆2,700億円となった。開示債権比率は、同△0.17%ポイント低下して2.60%となった。

### 5. 単体自己資本比率[国内基準40行]（自己資本比率：9.97%）

単体自己資本比率は、中間純利益による利益剰余金の積み上げにより、自己資本額が増加したため、9.97%と前年度末比+0.05%ポイント上昇した。

### 6. 預金および貸出金（末残）

#### (1) 預金（63兆9,040億円）

預金（末残）は、前年同期末比+1兆2,790億円、+2.0%増加して63兆9,040億円となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金が増加した。

#### (2) 貸出金（48兆1,623億円）

貸出金（末残）は、前年同期末比+1兆5,161億円、+3.3%増加して、48兆1,623億円となった。

以 上